

# 「まちづくりリーダー育成コース」 受講生募集



特定非営利活動法人グラウンドワーク三島は、静岡県三島市の水辺自然環境の再生と改善を目的として1992年に活動を開始し、現在までに三島市内60か所以上において、住民参加による多様なまちづくりプロジェクトを展開してきました。

この度、グラウンドワーク三島は、人材育成・就業支援を目的とした、三島市「地域人づくり事業」による、「まちづくりリーダー育成コース」を開講します。

この研修では、グラウンドワーク三島の多様な現場モデルの視察・体験を通し、就業力・現場力・人間力といった、社会で求められる実践力の育成と強化を図るとともに、研修の後半において、まちのデザイン・設計の実践スキルを学ぶことにより、まちづくりの基礎知識とノウハウを身につけます。

「自分の住むまちをより良くしたい、地域の人とつながる活動をしたい、自分の特技を活かして地域に新しい価値を生み出したい、まちづくりに関わる仕事に就きたい。」  
このような思いを抱えている人は、多いと思います。

まちづくりや環境再生に関心をもつ求職中の方、高校生や大学生、女性、シニア層のみなさまの積極的な参加をお待ちしております。



## まちづくりリーダー育成コース

主催：NPO 法人 グラウンドワーク三島

# 応募用紙

申込日 平成 26 年 月 日

フリガナ			
氏名			
生年月日	19 年 月 日	性別	男 ・ 女
所属			
現住所	〒		
電話番号（自宅）		電話番号（携帯）	
E-mail（パソコン）			
E-mail（携帯）			
緊急連絡先氏名			
緊急連絡先住所	〒		
続柄		緊急連絡先電話番号	

第1回 平成26年 8月27日（水）～ 8月31日（日）（5日間）に参加します。

第2回 平成26年 10月31日（金）～ 11月4日（火）（5日間）に参加します。

三島市地域人づくり事業  
市民活力活用推進事業（地域リーダー・起業家育成事業）

## まちづくりリーダー育成コース

主催：NPO 法人 グラウンドワーク三島

### 【募集対象者】

失業者、求職中の方、起業を考えている方、NPO やボランティア関係者、大学生や高校生など  
18 歳以上の若者、女性（専業主婦の方も歓迎）、シニア層 など

### 【実施日】

第 1 回 平成 26 年 8 月 27 日（水）～ 8 月 31 日（日）（5 日間） 9:30～16:00

第 2 回 平成 26 年 10 月 31 日（金）～ 11 月 4 日（火）（5 日間） 9:30～16:00

\*原則、全日程ご参加いただける人を優先いたしますが、やむを得ない事情で欠席の場合は、平成 27 年 2 月実施予定の補講にご参加いただけます。

### 【会場】

第 1 回 三島市民文化会館 第 1・2 会議室（三島市一番町 2-29、JR 三島駅南口より徒歩 3 分）

第 2 回 三島市民活動センター 第 1・2 会議室（三島市本町 3-29、JR 三島駅南口より徒歩 8 分）

### 【人数】

各 30 名程度 （定員に達し次第締め切ります。）

### 【研修費用】

受講料・資料代・視察代・研修中移動費は無料（宿泊費・旅費・交通費・飲食費などは自己負担）

### 【応募方法】

添付応募用紙を、FAX（055-973-0022）またはメール（info@gwmishima.jp）にて  
グラウンドワーク三島事務局（担当：オガタ、美和）にお申込みください。

### ～講師プロフィール～



#### 渡辺 豊博（わたなべ とよひろ）

1950 年生まれ。東京農工大学農学部卒業。静岡県庁職員を経て、2008 年 4 月より都留文科大学文学部社会学科教授。1992 年、故郷・三島市の水辺環境改善を目的として、市民・NPO・行政・企業がパートナーシップを組む、英国で始まったグラウンドワーク（環境改善活動）を取り入れた NPO 法人グラウンドワーク三島を立ち上げ、現在専務理事を務める。著書に、「NPO 実践講座」「環境共生の都市づくり」（ぎょうせい・共著）、「清流の街がよみがえった」（中央法規出版）、「英国発グラウンドワーク『新しい公共』を実現するために」（春風社・共著）、「富士山学への招待—NPO が富士山と地域を救う」「三島のジャンボさん ミスター・グラウンドワーク」「失敗しない NPO—グラウンドワーク三島の 20 年と英国に学ぶ—」（春風社・単著）、「共助社会の戦士たち—NPO・社会的企業 成功への処方箋」（静岡新聞社・単著）、「富士山の光と影」（清流出版・単著）などがある。



#### 加藤 正之（かとう まさゆき）

1970 年早稲田大学理工学部卒業。同大学院修了後、設計会社社員を経て、1981 年、(株)加藤正之建築研究所を設立し独立。さらに、1994 年、(有)地域環境プランナーズを設立し、住民参加を取り入れた環境保全型まちづくり計画策定、及びその指導に取り組む。現在、NPO 法人グラウンドワーク三島理事、認定 NPO 法人自然環境復元協会の理事長を務める。

【研修カリキュラム・スケジュール】

1 日目	9:15~9:30	集合・受付	
	9:30~10:00	オリエンテーション、自己紹介、アイスブレイキング	
	10:00~11:00	<b>講義</b> 「 <u>まちづくりとは何か?</u> 」 社会の変化、市民のニーズ、地域のシーズを知る。	
	8/27 (水)	11:00~12:00 <b>講義</b> 「 <u>まちづくりリーダーの役割</u> 」 協働とは何か、どう地域をつなぎ巻き込むか、そのために必要なスキルとは?	
	12:00~13:00	昼食休憩（講師を囲んでのランチ・ミーティング）	
10/31 (金)	13:00~15:00	<b>講義</b> 「 <u>成功事例の紹介：グラウンドワーク三島の先進的な現場モデルとは</u> 」 どうしたら元気な地域を創ることができるのか、多様な現場モデルのマネジメントを学ぶ。	
	15:00~16:00	<b>演習</b> 「 <u>質疑応答、ディスカッション</u> 」 《講師（終日）：グラウンドワーク三島専務理事／都留文科大学教授 渡辺豊博》	
	16:30~	<b>自由参加</b> まちづくりせせらぎ談義・交流会（会費制）	
2 日目	9:30~11:30	<b>視察</b> 「 <u>グラウンドワーク三島プロジェクト実践地の視察</u> 」 グラウンドワーク三島の現場モデルを視察し、地域協働の可能性と課題について学ぶ。 三島商工会議所集合→鏡池ミニ公園→三島街中カフェ→三島梅花藻の里→腰切不動尊→御殿川→三島商工会議所（まち歩き）	
	8/28 (木)	11:30~12:30	昼食休憩（講師を囲んでのランチ・ミーティング）
	11/1 (土)	12:30~16:00	<b>視察・体験</b> 「 <u>グラウンドワーク三島プロジェクト実践地の視察・体験学習</u> 」 グラウンドワーク三島の現場モデルを視察・体験し、地域協働の有益性を学ぶ。 せせらぎシニア元気工房→境川・清住緑地→松毛川千年の森づくり（竹林伐採、植林活動、河川清掃、水辺観察会など）（バス移動） 《講師（終日）：グラウンドワーク三島 渡辺専務理事／都留文科大学教授、グラウンドワーク三島専属インストラクター》
3 日目	9:30~11:30	<b>視察・体験</b> 「 <u>グラウンドワーク三島プロジェクト実践地の体験学習</u> 」 グラウンドワーク三島の現場モデルを視察・体験し、地域資源活用の有効性を学ぶ。 源兵衛川水辺環境再生活動体験（下流部での外来種駆除と堆積土の除去作業、中流部でのちゃんかけ＝茶碗の欠片拾いなど）	
	8/29 (金)	11:30~12:30	昼食休憩（講師を囲んでのランチ・ミーティング）
	11/2 (日)	12:30~16:00	<b>視察・体験</b> 「 <u>グラウンドワーク三島プロジェクト実践地の視察・体験学習</u> 」 みどり野ふれあいの園→農作業体験（箱根西麓元山中地区の耕作放棄地を活用した畑での除草・耕耘・肥料散布・種まき作業体験など）（バス移動） 《講師（終日）：グラウンドワーク三島 渡辺専務理事／都留文科大学教授、グラウンドワーク三島専属インストラクター、生態学の専門家》
	18:00~	<b>自由参加</b> 賑わう三島の夜のまち散歩・まちづくりせせらぎ談義・交流会（会費制）	

<p>4 日目 8/30 (土) 11/3 (月)</p>	<p>9:30~11:00 <b>講義「<u>グラウンドワーク三島によるまちづくりの戦略的アプローチを学ぶ</u>」</b>  地域資源再発見の手法や多様な人々とのネットワーク形成、意見調整のための合意形成のノウハウ、英国グラウンドワークによるパートナーシップの革新性、行政や企業へのアプローチ、資金調達の秘訣など、グラウンドワーク三島が蓄積してきた創造的なまちづくりのマネジメント力とビジネス力育成のポイントと極意を学ぶ。</p> <p>11:00~12:30 <b>演習「<u>質疑応答、ディスカッション</u>」</b>  疑問点や課題・懸念事項を解決し、学習内容の再確認を図る。今後の活動の方向性や具体的な取り組み方法・戦略・戦術を明確化する。  《講師（午前）：グラウンドワーク三島専務理事／都留文科大学教授 渡辺豊博》</p> <p>12:30~13:30 昼食休憩（講師を囲んでのランチ・ミーティング）</p> <p>13:30~16:00 <b>講義・演習「<u>まちづくりデザインスキルを学ぶ</u>」</b>  地域特性（自然環境・文化歴史・景観・食文化特性など）を生かした独創的なまちづくりに関わる基本計画・構想の策定や具体的なデザインのスキル、地域住民とのコミュニケーションスキル、合意形成スキルなど、源兵衛川の水辺再生計画や住民参加の境川・清住緑地計画策定を先導した地域デザイナーからそのポイントを学ぶ。  《講師（午後）：(有)地域環境プランナーズ代表／認定 NPO 法人自然環境復元協会 理事長加藤正之》</p>
<p>5 日目 8/31 (日) 11/4 (火)</p>	<p>9:30~12:30 <b>演習「<u>自分のまちをデザインしてみる</u>」ワークショップ</b>  まちをデザインするための多様なスキルを活用して、自分のまちをイメージしたまちづくりの基本デザインを考え、提案し、受講生との議論を踏まえ、自分なりのまちのデザインを作成する。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のまちの現状と課題を考え、まとめよう。</li> <li>・地域課題の具体的な解決策を考えてみよう。</li> <li>・地域の資源やまちの特性・個性を再発見し、付加価値を考えてみよう。</li> <li>・まちをデザインしてみよう。</li> </ul> </p> <p>12:30~13:30 昼食休憩</p> <p>13:30~15:45 <b>演習「<u>私のまちのデザインとは</u>」プレゼンテーション</b>  各人のまちのデザインを受講生の工夫によりわかりやすく発表し、講師や受講生からの講評、質問などを受け、内容を吟味したうえで研修のまとめ、成果とする。</p> <p>15:45~16:00 <b>講義「<u>研修のまとめ</u>」「<u>修了書贈呈</u>」</b>  《講師（終日）：(有)地域環境プランナーズ代表／認定 NPO 法人自然環境復元協会 理事長加藤正之》</p>



～グラウンドワーク三島の代表的なプロジェクト実践地紹介～

実践地	キーワード	概要	
げんべえがわ 源兵衛川	地域再生 住民参加 環境教育	市民・企業・行政のパートナーシップを仲介して、「水の都・三島」のシンボルである源兵衛川を再生しました。グラウンドワーク三島設立の契機となった事業です。 (蛍の舞う清流が蘇りました。)	
みしままちなか 三島街中カフェ	農業再生	三島の新鮮な野菜などを並べた朝市、コーヒーサービス、ワンコイン講座など、楽しい企画が盛りだくさんの交流拠点です。 (朝市は多くの買い物客で賑わいます。)	
みしまばいなか 三島梅カモの里	地域再生	湧水の減少と水質悪化により、いったんは市内の川から姿を消した水中花・ミシマバイカモを移植・育成し、原風景の再生を進めています。 (日韓バイカモ交流も進んでいます。)	
さかいがわ 境川・清住緑地	環境教育 住民参加	自然観察会や住民参加のワークショップを開催し、地域住民の意見やアイデアを集約し、地域固有の生態系を再生しました。 (毎年、地元の小学生たちが田植え体験を行います。)	
みどり野 ふれあいの園	住民参加 環境再生	三島市の遊休地を、地域のふれあいの場に整備しました。地元企業や行政から支援を得ながら、地域住民が主体となって手作りした公園です。 (富士山のビューポイントでもあります。)	
まつげがわ 松毛川	環境再生 住民参加 環境教育	松毛川には生態系豊かな河畔林がありましたが、近隣の開発による水質悪化などにより荒廃が進んでいます。千年の森を再生しましょう！ (カヌー上からの自然観察会も行っています。)	
かがみいけ 鏡池ミニ公園	地域再生	かつては、湧水池であり、三嶋大社に参拝する人々が姿を映し、身を清めた歴史的遺産です。町内会や地元企業との協働により再生しました。 (有志の手で美しく整備されています。)	
せせらぎシニア げんき工房 元気工房	人材育成	悠遊工房ひろかわを活動拠点に、間伐材や放置竹林材を材料とした小物の製作などに取り組んでいます。 (細部までこだわった商品を製作しています。)	
みしまのうそん 三島農村カフェ	農業再生	元々牛舎だった納屋を古民家風に改装。農業の活動拠点として、作業場や倉庫、そして農業学習や憩いの場として利用しています。 (開所式には、地元の方も多く駆けつけてくれました。)	
はこねせいりく 箱根西麓そば畑	農業再生 地域再生	箱根西麓地域でそば・小麦作りを行い、援農による遊休農地の利活用に取り組んでいます。 (じゃがいもなども作っています。)	